

巻末資料 1. 基礎演習 I・II 履修留学生対象アンケート・結果まとめ

基礎演習 I 履修留学生対象アンケート

1. 今履修している科目の中で、最も好きな授業はどれですか？その理由を選んでください。理由は複数選んでもいいです。

授業の名前 ()

好きな理由：

先生の話し方がわかりやすいから ・ 先生が使う資料 (プリント・PPT など) がわかりやすいから ・
内容が面白いから ・ 授業で日本人学生と話す機会があるから ・ 人数が少ないから ・
授業が講義形式だから ・ 授業がディスカッション形式だから ・ 将来役に立ちそうだから ・
その他 ()

2. 今履修している科目の中で、最も難しいと感じる授業はどれですか？その理由を選んでください。理由は複数選んでもいいです。

授業の名前 ()

難しいと感じる理由：

先生の話が理解できないから ・ 先生が使う資料 (プリント・PPT など) が難しいから ・
内容が難しいから ・ 日本人学生の話が理解できないから ・ 日本人学生と話すのが難しいから ・
授業が講義形式だから ・ 授業がディスカッション形式だから ・ 宿題が多いから ・
宿題が難しいから ・ その他 ()

3. 基礎演習 I でどのようなことが難しいですか？下から選んでください。複数選んでもいいです。どうしてそれらが難しいと感じますか？理由も書いてください。

教科書の練習問題を解く ・ 先生の話を理解する ・ 授業の流れを理解する ・
クラスメートと話し合う ・ クラスメートの話を理解する ・ グループワークで発言する ・
グループワークで司会をする ・ グループワークで書記をする ・ 先生に質問する ・
クラスメートに質問する ・ その他 ()
理由 ()

4. 大学の授業で、今どのようなアカデミックスキルを身につける必要があると思いますか？自分に必要な力を下から選んでください。複数選んでもいいです。どうしてそのような力が必要だと思いますか？理由も書いてください。

講義を理解する ・ 講義のノートをとる ・ 授業の資料を読む ・ クラスメートと話し合う ・
クラスメートの話を理解する ・ 必要な資料を探す ・ 資料を自分のことばでまとめる ・
資料を分析する ・ 発表する ・ 授業の感想を書く ・ レポートを書く ・
先生に言いたいことを伝える ・ クラスメートに言いたいことを伝える ・
その他 ()
理由 ()

5. 以下のアカデミックスキルについて、自己評価してください。

5=とてもできる、4=できる、3=まあまあ、2=あまりできない、1=全くできない、
 まだ大学の授業で機会がないので、わからない=NA

講義を理解する	5	・	4	・	3	・	2	・	1	・	NA
講義のノートをとる	5	・	4	・	3	・	2	・	1	・	NA
授業の資料を読む	5	・	4	・	3	・	2	・	1	・	NA
クラスメートと話し合う	5	・	4	・	3	・	2	・	1	・	NA
クラスメートの話を理解する	5	・	4	・	3	・	2	・	1	・	NA
必要な資料を探す	5	・	4	・	3	・	2	・	1	・	NA
資料を自分のことばでまとめる	5	・	4	・	3	・	2	・	1	・	NA
資料を分析する	5	・	4	・	3	・	2	・	1	・	NA
クラスメートの前で発表する	5	・	4	・	3	・	2	・	1	・	NA
授業の感想を書く	5	・	4	・	3	・	2	・	1	・	NA
レポートを書く	5	・	4	・	3	・	2	・	1	・	NA
先生に言いたいことを伝える	5	・	4	・	3	・	2	・	1	・	NA
クラスメートに言いたいことを伝える	5	・	4	・	3	・	2	・	1	・	NA

6. 大学に入学してから、どの程度日本語が上達したと思いますか？自己評価し、何ができるようになったか（できないか）、評価の理由も具体的に書いてください。

5=とても上達した、4=上達した、3=まあまあ、2=少しだけ上達した、1=変わらない

読む	5	・	4	・	3	・	2	・	1	
理由 ()
書く	5	・	4	・	3	・	2	・	1	
理由 ()
聞く	5	・	4	・	3	・	2	・	1	
理由 ()
話す	5	・	4	・	3	・	2	・	1	
理由 ()

7. 大学生活を送るために、どのような日本語力を向上させたいと思いますか？自由に書いてください。

ご協力ありがとうございました。

基礎演習 I 履修学生対象アンケート結果概要

2019/10/14

トンプソン美恵子

対象者：2019 年度前期日本語 IA および IB 履修学生 41 名

実施日：2019 年 7 月 29 日（月）3 時限（期末試験終了後）

方法：アンケート用紙に無記名で記入

8. 履修している科目の中で最も好きな授業はどれですか(自由記述)。理由を選んでください(複数回答可)。

1-a. 好きな授業

基礎演習 I	13
日本語 I	6
文化人類学 I	4
基礎経済学 I	3
憲法 I	2
民法 I	2
歴史学 I	2
論理学 I	2
アジア共同体論(法)	1
コンピューターリテラシー I	1
社会学 I	1
スポーツ経営学	1
専門演習入門 I	1
富士山と観光	1
メディアリテラシー	1

1-b. 好きな理由-全授業合算

N=82

先生の話し方がわかりやすい	21
先生が使う資料がわかりやすい	12
内容が面白い	9
授業で日本人学生と話す機会がある	13
人数が少ない	6
授業が講義形式	3
授業がディスカッション形式	2
将来役に立ちそう	9
その他	7

その他の内訳

(基礎演習 I)

先生が面白い、授業中ゲームをする、先生が優しい、楽

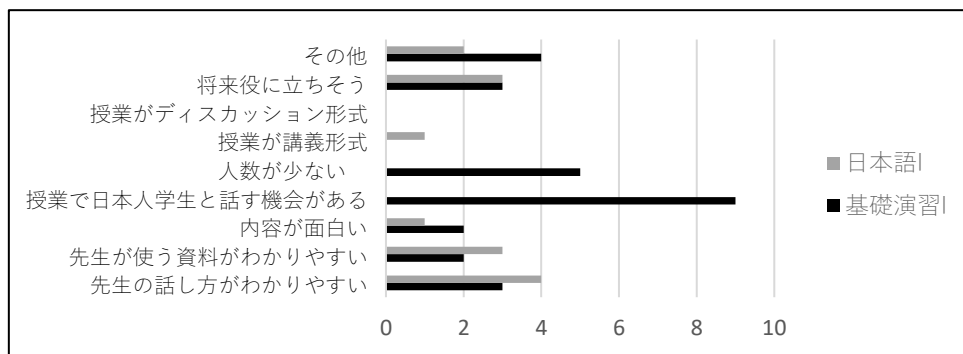
(日本語 I)

新たな知識を身につけたい、先生に親しみがある

(専門演習入門 I)

楽しい

1-c. 好きな理由-基礎演習 I と日本語 I の比較



1 のまとめ

「基礎演習 I」が最も好意的に捉えられている。主な理由は日本人学生との交流や少人数授業という点にある。全授業を総じて見ると、教員の話と資料のわかりやすさ、日本人学生との交流、内容の面白さ、有用性が好きな授業の理由として挙げられている。

9. 履修している科目の中で最も難しいと感じる授業はどれですか(自由記述)。理由を選んでください(複数回答可)。

2-a. 難しい授業 ※網掛けは質問1 既出科目 2-b. 難しい理由-全授業合算

基礎経営学Ⅰ	9
日本語Ⅰ	4
文化人類学Ⅰ	4
基礎経済学Ⅰ	4
音楽と文化Ⅰ	2
基礎演習Ⅰ	1
憲法Ⅰ	1
歴史学Ⅰ	1
人間と科学Ⅰ	1
法学Ⅰ	1
東アジアの歴史と社会	1
古代学Ⅰ	1
基礎簿記	1
現代中国の政治	1
民法総則A	1
スポーツと健康Ⅰ	1
心理学Ⅰ	1
自然の探求Ⅰ	1
簿記概論	1
ない	4

N=45

先生の話が理解できないから	6
先生が使う資料が難しいから	2
内容が難しいから	23
日本人学生の話が理解できないから	3
日本人学生と話すのが難しいから	2
授業が講義形式だから	2
授業がディスカッション形式だから	1
宿題が多いから	2
宿題が難しいから	2
その他	2

その他の内訳

(基礎経営学Ⅰ)

新しい言葉がたくさん出てくる

(歴史学Ⅰ)

学生の私語がうるさい

2-c. 上位4科目および基礎演習Ⅰに対する理由

	基礎経営学Ⅰ	日本語Ⅰ	文化人類学Ⅰ	基礎経済学Ⅰ	基礎演習Ⅰ
先生の話が理解できないから	4				
先生が使う資料が難しいから	1				
内容が難しいから	4	2	3	3	
日本人学生の話が理解できないから				1	1
日本人学生と話すのが難しいから				1	1
授業が講義形式だから	1		1		
授業がディスカッション形式だから				1	
宿題が多いから	1	1			
宿題が難しいから	1	1			
その他	1				

2のまとめ

授業を難しいと捉える要因として、内容、教員または学生の話し方などがあつた。「ない」と答えた学生もおり、必ずしも1年次配当の授業を難解と認識している訳ではないことがうかがえる。一方、質問項目1で好きな授業として挙げられたものを難しいと回答した学生もおり(基礎演習Ⅰや基礎経済学Ⅰなど)、その認識を左右する一要因として日本人との交流に対する捉え方がある。

10. 基礎演習 I でどのようなことが難しいですか。選択肢から選んでください(複数回答可)。理由も書いてください。

N=60

クラスメートと話し合う	13
グループワークで発言する	12
クラスメートの話を理解する	8
ない	8
グループワークで司会をする	4
先生の話を理解する	3
グループワークで筆記をする	3
クラスメートに質問する	2
授業の流れを理解する	2
教科書の練習問題を解く	1
先生に質問する	0
その他	4

その他の内訳

小論文(3)

人間関係

※理由を挙げた学生は少数だったため割愛。

3 のまとめ

総じてグループワークへの参加に困難を感じていることがうかがえる。発言が難しいという回答の他、クラスメートの話が理解しにくいという回答も 9 件あった。他方、難しい点が「ない」と答えた学生は 8 名で、「まだグループワークをあまり経験していないからわからない」という者も含まれる。内容については、「教科書の練習問題を解く」は 1 件のみで、その他で小論文が 3 件挙げられた。

11. 大学の授業で今どのようなアカデミックスキルを身につける必要があると思いますか(複数回答可)。理由も書いてください。

N=105

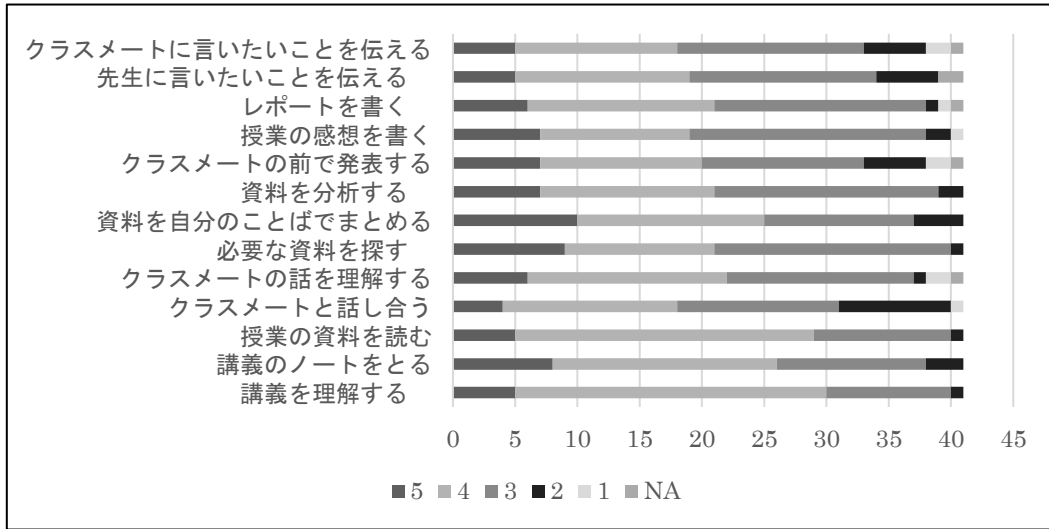
講義を理解する	18
レポートを書く	18
講義のノートをとる	11
発表する	11
資料を自分のことばでまとめる	10
資料を分析する	9
授業の資料を読む	8
必要な資料を探す	8
クラスメートと話し合う	6
先生に言いたいことを伝える	4
授業の感想を書く	3
クラスメートの話を理解する	2
クラスメートに言いたいことを伝える	0

※理由を挙げた学生は少数だったため割愛。

4 のまとめ

必要なアカデミックスキルとして、講義理解とレポート作成関連の事柄が多く挙げられた。また、ノートテイキングや発表などのアウトプットを重視していることがうかがえる。

12. 以下のアカデミックスキルについて、自己評価してください(5=とてもできる、4=できる、3=まあまあ、2=あまりできない、1=全くできない、わからない=NA)。その理由も書いてください。



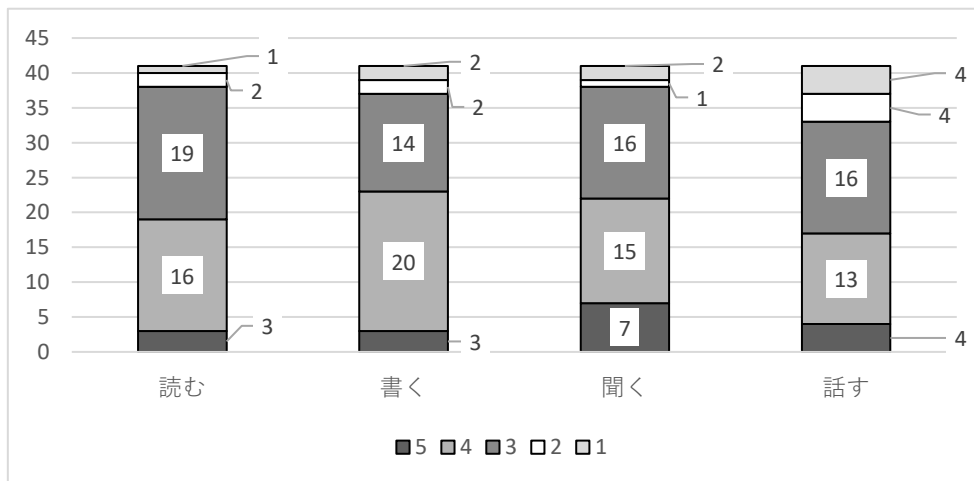
アカデミックスキルズに関する自己評価 ※理由を書いた学生は少数だったため割愛。

5のまとめ

総じて自己評価は高い。その中で、「クラスメートに言いたいことを伝える」「先生に言いたいことを伝える」「授業の感想を書く」「クラスメートの前で発表する」「クラスメートと話し合う」といったアウトプットに3以下をつけた学生が半数以上だった。質問項目4と照らし合わせると、重視されていた講義理解やノートテイキングに関する自己評価は比較的高い。一方、4では必要なスキルとして認識されていなかったクラスメートや教員とのやりとり、授業での発表などに対する自己評価は高くなかった。これは、授業の中で積極的に発言したり、質問したりすることがまだ必要ではないという学生の現状認識も影響していると考えられる(質問項目3の基礎演習の困難点が「ない」と答えた学生の理由など)。

13. 大学に入学してから、どの程度日本語が上達したと思いますか。自己評価し、何ができるようになったか(できないか)、評価の理由も具体的に書いてください(5=とても上達した、4=上達した、3=まあまあ、2=少しだけ上達した、1=変わらない)。

6-a. 日本語4技能の上達に関する自己評価



6-b. 自己評価の理由

※カッコ内数字は自己評価、＋は肯定的／－は否定的理由

読む	＋	日本で3年間住んでいるので、読むことは大丈夫(3)、テキストや資料を読むことで上達した(4)、文章を読む場面が増えた(4)、発音がきれいになった(4)、意味はだいたいわかる(3)、普段から新聞を読む習慣がある(4)、読むのはいつも得意(4)、大学で日本語の本をよく読む(2)
	－	能力以上の内容を読んでいないので、向上していない(3)
書く	＋	たくさん練習した(4)、たくさんレポートを書いた(3)、レポートや本文の要約を書くことで上達した(4)、大平先生と鈴木先生のおかげ(5)、ノートをよく書くから(4)、新しい文法を学んだ(4)、いつも色々なレポートがあるから(4)
	－	文法があまりわからない(3)、練習する機会がない(1)
聞く	＋	バイトで一人だけ外国人なので、よく日本人と話す(4)、授業で自然と身についた(3)、聞く機会が多い(4)、日本人の学生と交流がある(4)、日本人の友達ができた(5)
	－	以前より日本人の友だちが少なくなった(1)、時々具体的なことがわからない(3)
話す	＋	バイトで一人だけ外国人なので、よく日本人と話す(4)、日本人と話すチャンスが増えた(3)、基本的なことは伝えられる(4)、日本人と話す機会が多い(3)、日本人の友達が多かったから(5)
	－	日本人のクラスメートと話す機会が少ない(3)、少し内向き(3)、あまり話さない(3)、機会がない(3)、緊張で話せないときがある(3)

6のまとめ

5同様総じて自己評価は高いが、比較的「話す」ことには向上を感じていない。その理由におけるキーワードは「日本人」で、クラスメートなど同世代の日本人と話す機会の有無が、「話す」ことに対する自己評価を左右している。「書く」ことは訓練をしたという実感を持つ学生が多い傾向にある。

14. 大学生生活を送るために、どのような日本語力を向上させたいと思いますか？自由に書いてください。

- ・ もっと多く日本人の学生と交流する
- ・ 日本人の考え方
- ・ 日本人のクラスメートと交流する力を上げたい
- ・ たくさん日本人の友だちを作る。たくさん日本人と話す。
- ・ クラブに参加して日本人の友だちが欲しい。
- ・ 日本の友だちにはっきり自分の気持ちを伝えることができるようになりたい。
- ・ クラスメート言いたいことを伝えるだけでなく、学校の誰とでも交流できる。
- ・ 話す能力、発表する能力
- ・ 話すのが上手になりたい
- ・ 日本人と自由に話せるレベルになりたい。
- ・ 聴くことと話すことを身につけたい。
- ・ 活用する能力を養うこと。学生がどのような目標を設定したか把握し、それに応じた専門的な教育が重要だと思う。
- ・ 文章を素早く読める能力
- ・ 理解の能力（日本人の先生の話の速度）
- ・ 基本的な助詞の復習
- ・ 書き言葉（より正確に伝えたい）。
- ・ ビジネス日本語や敬語をもっと向上させたい
- ・ 敬語に慣れたい。

7のまとめ

日本人学生との交流を挙げた学生が多く、おのずと話す力の向上も複数挙げられている。

基礎演習 II 履修学生対象アンケート結果概要

2020/2/18

トンプソン美恵子

対象者：2019 年度後期「基礎演習 II」履修 4 月入学留学生 34 名

実施期間：2019 年 12 月 23 日（月）～2020 年 1 月 27 日（月）；日本語 I または II クラスで実施

方法：Google フォームに無記名で質問に回答

1. 好きな授業について

1-1. 後期開講総合基礎教育科目・外国語科目の好きな授業および理由（選択式；理由は複数回答可）

科目	件数	好きな理由（カッコ内は延べ件数）
基礎演習 II	6	授業で日本人学生と話す機会がある（6） / 先生の話し方がわかりやすい（3） 内容が面白い（3） / 将来役に立ちそう（2） / 人数が少ない、授業がディスカッション形式（各 1）
哲学 II	4	内容が面白い（4） / 先生の話し方がわかりやすい（3） / 授業がディスカッション形式、先生が使う資料がわかりやすい（各 1）
日本の経済と社会	3	先生の話し方がわかりやすい（3） / 内容が面白い（2） / 先生が使う資料がわかりやすい、将来役に立ちそう（各 1）
現代中国の社会・経済	3	先生の話し方がわかりやすい（2） / 先生が使う資料がわかりやすい（2） / 内容が面白い、授業が講義形式（各 1）
日本語 II (A)・特講 B(B)	3	内容が面白い（2） / 先生の話し方がわかりやすい（2） / 将来役に立ちそう（2） / 先生が使う資料がわかりやすい、授業がディスカッション形式（各 1）
その他	5	先生の話し方がわかりやすい（3） / 内容が面白い、先生が使う資料がわかりやすい、将来役に立ちそうだから（各 1）

[他の科目] スポーツと健康 I (2) / 人間と科学 II, 生物と環境 II, 平和学 II, 倫理学 II, 歴史学 II (各 1)

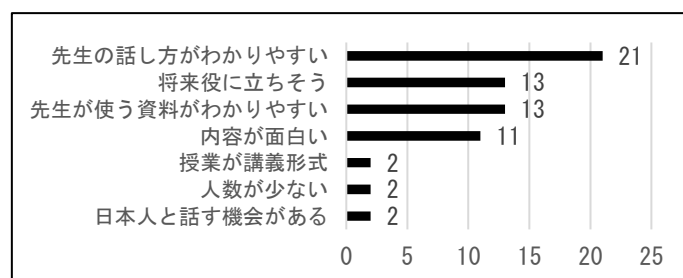
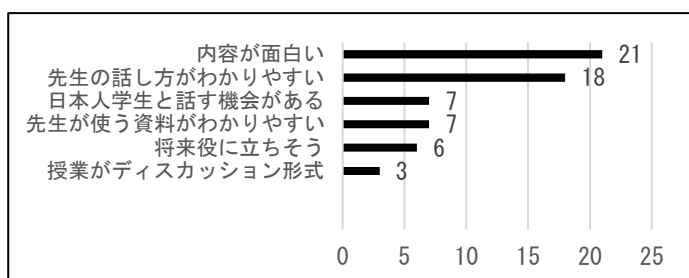


図 1-1. [総合基礎教育科目等]好きな理由全科目合算

図 1-2. [専門教育科目]好きな理由全科目合算

1-2. 後期開講専門教育科目の好きな授業および理由（選択式；理由は複数回答可）

科目	件数	好きな理由（カッコ内は延べ件数）
基礎簿記	12	将来役に立ちそう（8） / 先生の話し方がわかりやすい（4） / 先生が使う資料がわかりやすい（4） / 内容が面白い（3） / 授業が講義形式（2） / 授業で日本人学生と話す機会がある（1）
経済学概論	4	先生の話し方がわかりやすい（4） / 先生が使う資料がわかりやすい（2） / 内容が面白い（1）
コンピューターリテラシー	3	先生の話し方がわかりやすい（3） / 先生が使う資料がわかりやすい（2） / 内容が面白い、将来役に立ちそう（各 1）
経営学概論	2	先生の話し方がわかりやすい（2） / 内容が面白い（2） / 先生が使う資料がわかりやすい（1）
基礎マーケティング	2	先生の話し方がわかりやすい（2） / 先生が使う資料がわかりやすい（1）
マーケティング概論	2	先生の話し方がわかりやすい（2） / 内容が面白い（2） / 将来役に立ちそう（1）
基礎数理・統計	2	内容が面白い（2） / 先生が使う資料がわかりやすい、将来役に立ちそう（各 1）
刑法 II	2	先生の話し方がわかりやすい、将来役に立ちそう（各 1）

[他の科目] コンピューター基礎理論 II, 現代社会とビジネス, 政治行政入門 II, 日本政治史, 不動産取引と法 I (各 1)

1 のまとめ

総合基礎教育科目では、前期同様「基礎演習 II」が最も好意的に捉えられている。日本人学生と話す機会が理由として多数挙がったことも前期と同じ傾向。好きな授業の理由全体を見ると、内容の面白さ、教員の話し方、資料のわかりやすさ、将来への有用性などが上位に挙げられた。

2. 難しい授業について

2-1. 後期開講総合基礎教育科目・外国語科目の難しい授業および理由（選択式；理由は複数回答可）

科目	件数	難しい理由（カッコ内は件数）
東アジアの歴史と社会 II	3	先生の指示が理解できない (3) / 先生の態度 (2) / manaba やレスポンスが使えない (1)
経済学 II	3	先生の話が理解できない, 先生の指示が理解できない, 日本人学生の話が理解できない, 内容が難しい, 先生が使う資料が難しい, 宿題が難しい, 授業が講義形式 (各1)
法学	3	内容が難しい (3)
音楽と文化 II	3	宿題が難しい, 内容が難しい, 授業が講義形式 (各1)
基礎演習 II	2	宿題が難しい, 日本人学生と話すのが難しい (各1)
古代学 II	2	先生の指示が理解できない, 内容が難しい (各1)
社会学 II	2	内容が難しい (1)
文学 II	2	授業が講義形式, 日本人学生と話すのが難しい (各1)
歴史学 II	2	授業がディスカッション形式, 宿題が多い, 日本人学生と話すのが難しい (各1)
日本語 II (B)・特講 B(B)	2	内容が難しい (2) / 先生が使う資料が難しい, 宿題が難しい (各1)
その他	4	内容が難しい (4)
[他の科目] ジェンダー論 II, 観光と自然保護, 人間と科学 II, 人文地理 II, 哲学 II, 論理学 II (各1)		

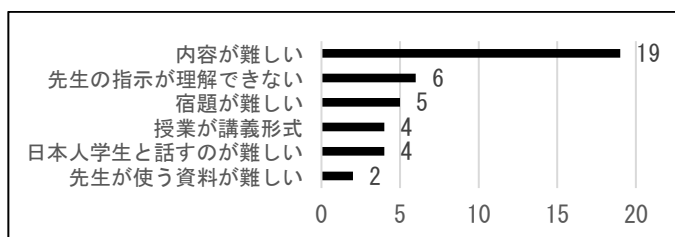


図 2-1. [総合基礎教育科目等] 難しい理由全科目合算

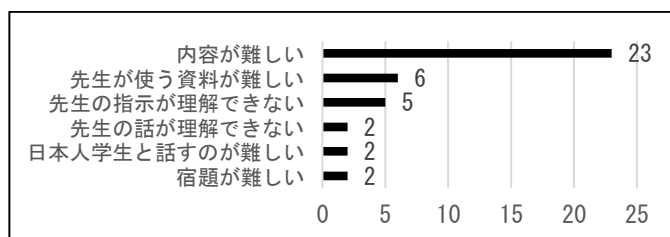


図 2-2. [専門教育科目] 難しい理由全科目合算

2-2. 後期開講専門教育科目の難しい授業および理由（選択式；理由は複数回答可）

科目名	件数	難しい理由（カッコ内は件数）
基礎マーケティング	9	内容が難しい (5) / 先生が使う資料が難しい (2) / 先生の指示が理解できない (3) / 日本人学生と話すのが難しい (1)
基礎簿記	8	内容が難しい (7) / 宿題が難しい, 授業が講義形式 (各1)
経営学概論	3	内容が難しい (2) / 先生が使う資料が難しい (1)
憲法 II	3	内容が難しい (2) / 先生の話が理解できない (1)
コンピューター基礎理論 II	2	内容が難しい (2)
法学	2	内容が難しい (2) / 先生が使う資料が難しい, 宿題が難しい (各1)
[他の科目] マーケティング概論, 基礎数理・統計, 公務員の仕事, 政治行政入門 II, 日本政治史, その他 (各1)		

2のまとめ

授業を難しいと捉える要因として、内容、教員または学生の話し方、資料などがあつた。これらは好きな授業で挙げられていた項目でもある。専門科目については好きな授業で挙げられたものがあり、難しいと感じる理由の大半が「内容」だった。専門に対する基礎知識の差が現れたと考えられる。なお、前期は難しい科目が「ない」と答えた学生が4人いたが、後期は0だった。

3. 基礎演習 II の難しい点 (選択式；複数回答可)

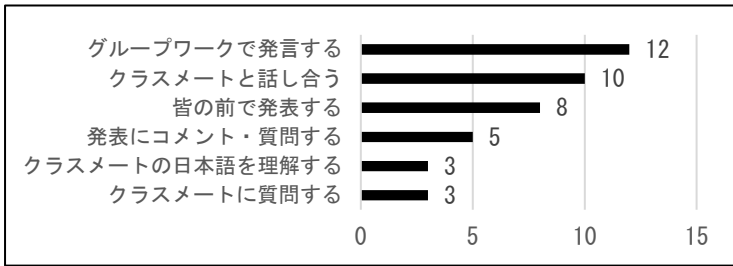


図 3. 基礎演習 II の難しい点

3 のまとめ

前期に引き続き、グループワークへの参加に困難を感じていることがうかがえる。前期との相違点は、グループワークでのアウトプットにより焦点があること、「なし」と答えた学生が 8 人→1 人に減少したことである。

4. 大学の授業で必要なアカデミックスキル (選択式；複数回答可)

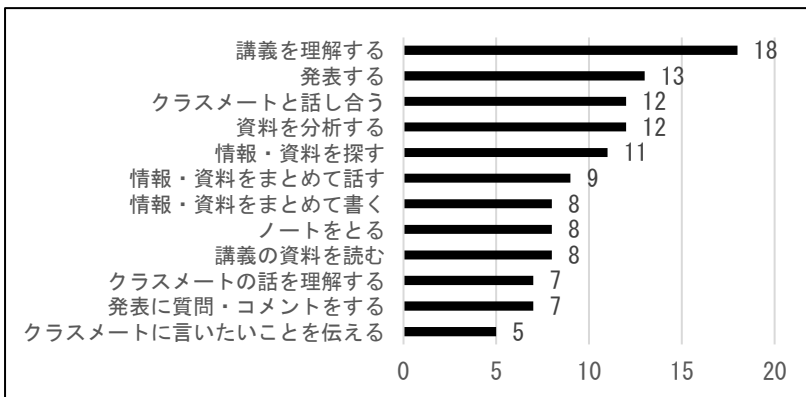


図 4. 大学の授業で必要なアカデミックスキル

4 のまとめ

前期に引き続き、講義理解、発表、ノートテイキング、情報収集・分析などのアカデミックスキルが重視されていた。一方、「クラスメートと話し合う」は後期で上位に挙げられたもので、PBL 型の基礎演習 II など求められたスキルの影響がうかがえる。

5. アカデミックスキルに関する自己評価と理由

(5=とてもできる、4=できる、3=まあまあ、2=あまりできない、1=全くできない、わからない=NA)。

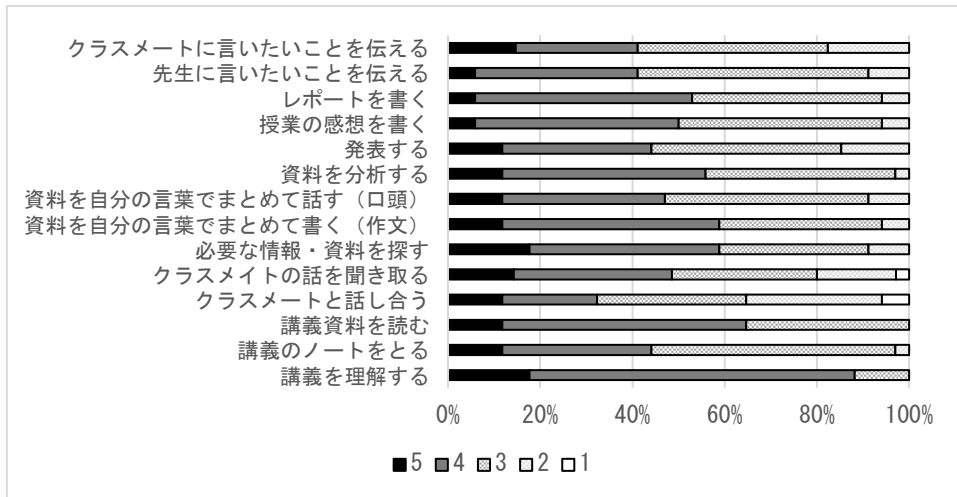


図 5. アカデミックスキルズに関する自己評価

5 のまとめ

前期同様、4 の項目で重視されていた講義理解は、自己評価が高かった。書く、読む、聞くに比べると、話すことの自己評価が低い。「クラスメートに言いたいことを伝える」「先生に言いたいことを伝える」「発表する」「資料を自分の言葉でまとめて話す」「クラスメートと話し合う」といった口頭でのアウトプットに 3 以下をつけた学生が半数以上で、前期と同様の結果だった。若干異なるのは、後期で「授業の感想を書く」の自己評価が若干上がったこと、「授業のノートをとる」の自己評価が下がったことである。

6. 大学入後の日本語の上達度に対する自己評価

(5=とても上達した、4=上達した、3=まあまあ、2=少しだけ上達した、1=変わらない)。

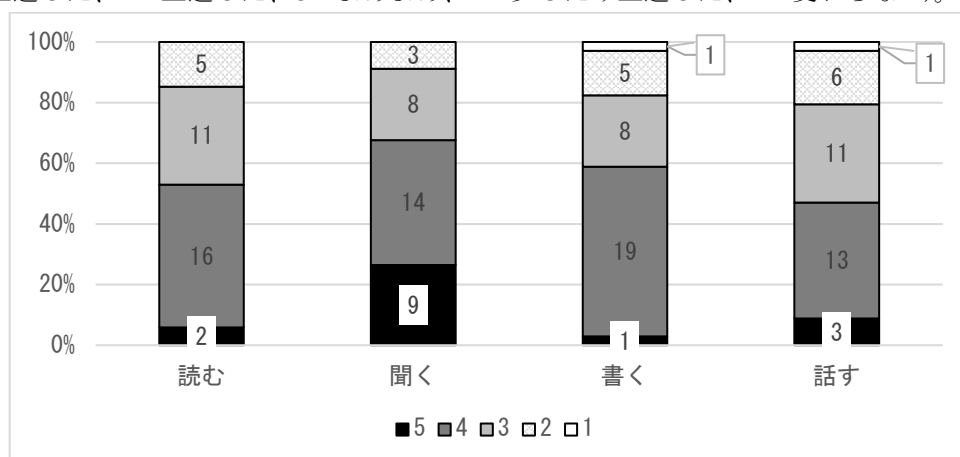
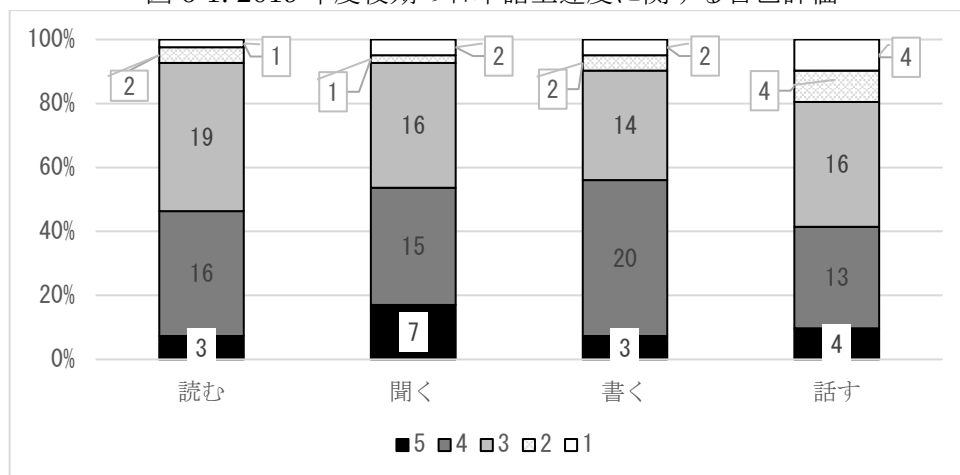


図 6-1. 2019 年度後期の日本語上達度に関する自己評価



【参考】 図 6-2. 2019 年度前期の日本語上達度に関する自己評価

自己評価の主な理由 ※カッコ内数字は自己評価、+は肯定的/-は否定的理由

読む	+	資料が大体理解できる (6)、読み資料が多くなった、難しい文章も読めるようになった 難しい文章を読む機会が多くなる
	-	苦手 (3)、努力が必要 (2)、漢字の読み方がわからない (2)、読む機会が多くなかった (2)、授業の資料を読むのが難しい
聞く	+	結構聞き取りができる (7)、先生の講義が大体わかる (3)、日常生活で日本人の話を聞き 取れる (2)、毎日日本語を聞いている (2)、日本人の友達がいるから上達した、授業 内容を聞く機会が多くなった
	-	難しい言葉は困る、背景を知らない難しい、話し合いが難しい、
書く	+	レポートの練習があったから (6)、結構できる (5)、自分のペースで書けるのであれば いい、話せることは書ける、自分の考えが書ける、書くことが一番好き
	-	レポートを書くのが難しい、文法が下手、練習をしなかった、漢字が書けない
話す	+	日本人と(授業、アルバイトなどで)コミュニケーションをとった(4)、知識が増えた、 発表でだいたい言いたいことが話せる(2)、自分の気持ちを入れて話せる
	-	話す時知らない言葉がある (2)、グループワークでなかなか意見が言えない、日本人学 生との議論が難しい、あまり話さなかったから、できなくて恥ずかしい

6 のまとめ

前期と比べると自己評価は全体的に上がり、特に「聞く」ことに上達を感じている。「聞く」や「話す」の自己評価理由を見ると、日本人との接触経験が自己評価を左右していることがうかがえる。他方、理由に漢字、文法、言葉（語彙）など日本語に関する記述が見られるのは、後期の特徴である。

7. 大学生活を送るために、向上させたい日本語力（主なものを抜粋）
- ・ グループディスカッションで意見が言えるようになりたい
 - ・ コメントや質問などを出すこと
 - ・ JLPT の N1
 - ・ ビジネス日本語
 - ・ 読むことと書くこと
 - ・ 文法
 - ・ 論理的に一貫性のあるレポートが書けるような日本語力を向上させたい
 - ・ 日本人学生とコミュニケーションするチャンスが欲しい
 - ・ 日本人と交流できる日本語
 - ・ 学校以外の日本人とコミュニケーションが取れる
 - ・ 日本人と話す時、外国人だと気付かれないレベル
 - ・ 日本語が自分の体の一部となって話せるようになること

7 のまとめ

前期と同様に、日本人学生との交流、流暢さを挙げた学生が多い。「コメントや質問などを出すこと」といった自発的なアウトプットについては後期挙げられたものである。PBL 型の基礎演習 II などの影響が考えられる。